

第5回 はいく俳句のせかい世界

「切れ字」でキレキレ

しずか 閑 さ **や** いわ 岩に い しみ入る せみ 蟬の 声 芭蕉

春の海 ひねもすのたり のたり **かな** 蕪村

赤い字のところを「切れ字」と言います。俳句で使われる特別な表現です。1つの俳句に「切れ字」は1つだけ使えます。

しずか 「閑 さ **や** いわ 岩に い しみ入る せみ 蟬の 声」(切れ字あり)

しずか 「閑 さ が いわ 岩に い しみ入る せみ 蟬の 声」(切れ字なし)

二つの俳句をよみくらべてみるとちがいがわかりやすいですね。

他にも「切れ字」はたくさんあります。

「けり」「もがな」「し」「じ」「らん」「か」「よ」
「ぞ」「つ」「せ」「れ」「ぬ」「いかに」「ず」「け」
「へ」など18あります。

☆「切れ字」をさがせ！

次の俳句の中から切れ字をさがしてみましよう。

- ・ いくたびも 雪の深さを ^{たず}尋ねけり
- ・ ^{なつくさ}夏草や ^{つわもの}兵どもが ^{ゆめ}夢のあと
- ・ ^{なつかわ}夏河を ^こ越すうれしきよ ^て手にぞうり
- ・ ^{さみだれ}五月雨の ^{そらふ}空吹き ^お落とせ ^{おおいがわ}大井川
- ・ 世の中に さらぬ別れの なくもがな

あなたはいくつ見つけられましたか。

「切れ字」がある事で、俳句の世界がより深く広いものになっていくような気がしました。

皆さんも、チャンスがあれば、進んで切れ字を使ってみましょう。